



一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会 会報

静臨技ニュース

第 436 号

発行所／(一社)静臨技渉外広報部 〒422-8062 静岡市駿河区稲川 1-1-15 ヴィラセーユー稲川 207

TEL.054(287)6337 FAX.054(287)4113

発行者／羽切 政仁 編集責任者／高橋 詩帆 発行日／2026年7月1日

7月号の内容



- ◆ 静岡県臨床衛生検査技師会 令和8年度定時総会 第13回静岡県医学検査学会開催報告 P1-4
- ◆ 令和8・9年度役員紹介 P5-9
- ◆ 会員投稿 P10
- ◆ 研修会参加申し込み時のアドレス登録設定について P11
- ◆ 臨床検査関連研修会 P12-25
- ◆ 行事予定 P26

静岡県臨床衛生検査技師会

令和8年度定時総会・第13回静岡県医学検査学会開催報告

令和8年6月13日(土)に令和8年度定時総会をWeb開催・第13回静岡県医学検査学会を静岡県男女共同参画センターあざれあ 大ホールにて開催いたしました。

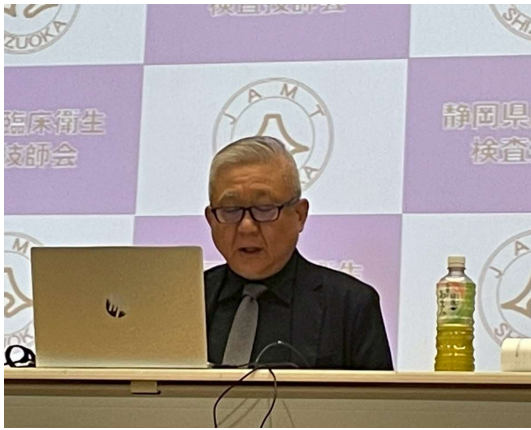
議案については全て承認され、無事終了することができました。ご協力いただいた会員の皆様に感謝を申し上げます。

本総会における第5号議案の承認により、令和8年度・9年度は7名の役員が交代し、新体制のもと、理事17名、監事2名で活動して参りますので、会員の皆様、よろしくお願い致します。

また、会の中では永年職務精励者表彰が行われ、今年の対象者は20名、磐田市立総合病院 久留島幸路様が代表して表彰を受けられました。

午後に開催された第13回静岡県医学検査学会では「学びを力に、力を自信に！」をテーマとして18演題の発表がありました。若手技師が学会発表を経験する登竜門として位置づけておりますが、とても堂々としつかりした発表であり、会場や座長からの質問に対しても堂々と対応していました。内容的にもとても有意義な学会となりました。学会終了後には小ホールにて意見交換会を開催しました。60名を超える方々の参加があり活発な意見交換がされていました。学会の現地開催は大成功であったと思っております。会員の皆様のご協力のおかげであり、改めて感謝いたします。

【令和8年度静岡県臨床衛生検査技師会定時総会】



羽切政仁 会長



永年職務精励者表彰 表彰者
久留島幸路 常務理事



坂根潤一 事務局長



左：富士市立中央病院 渡邊広明 議長
右：順天堂静岡病院 児玉由美子 議長



市川佐知子 組織部長



原宜紀 学術部長



高橋詩帆 渉外広報部長



齋藤晴義 会計部長





【静岡県医学検査学会】



《第 I 群》13 時 10 分～14 時 10 分

座長 市川 佐知子（静岡厚生連 遠州病院）

風間 文美代（静岡市立静岡病院）

- | | |
|-----------------------------------------------------|-------|
| 1. 健診の検査結果から臨床検査技師が積極的に介入した悪性リンパ腫の一例 | 河合 永遠 |
| 2. スキャットグラムの異常から不安定ヘモグロビン症が疑われた 1 症例 | 足達 咲紀 |
| 3. 棘状赤血球の出現を契機として PKLR 遺伝子解析により診断されたピルビン酸キナーゼ欠乏症の一例 | 鈴木 聖矢 |
| 4. 形質細胞が増加し診断に苦慮した再生不良性貧血の 1 症例 | 大竹 裕次 |
| 5. 細胞形態の鑑別が困難であった CD5 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 症例 | 谷内 文太 |
| 6. 芽球が混合表現型の形質を示し、急性転化した CML の一例 | 中村 祐也 |

《第Ⅱ群》14時15分～15時25分

座長 亀山 拓哉（島田市立総合医療センター）
石井 浩崇（NTT 東日本伊豆病院）
山下 計太（浜松医科大学医学部附属病院）

- | | |
|------------------------------------------|--------|
| 7. 血清フェリチンにおける試薬検討 | 加藤 祐樹 |
| 8. 半年間 NST へ参加し得られたこと | 村上 ゆうな |
| 9. 臨床検査と治験事業をつなぐ臨床検査技師の役割 | 佐藤 圭 |
| 10. 新人教育の最適化を目指した取り組み－評価記録の改定・改善活動とその効果－ | 伊藤 結衣 |
| 11. 赤血球製剤の在庫管理における ARMA モデルの有用性 | 永澤 昌大 |
| 12. 細菌同定・薬剤感受性検査装置新規導入における今後の運用可能性 | 後藤 敦也 |
| 13. お好み焼き粉から発生したダニによるアレルギーの1例 | 熊谷 慧人 |

《第Ⅲ群》15時30分～16時30分

座長 久留島 幸路（磐田市立総合病院）
渡邊 広明（富士市立中央病院）

- | | |
|--------------------------------------|--------|
| 14. 超音波診断装置を用いた筋硬度測定における技師間差是正への取り組み | 石黒 愛 |
| 15. 当院における安静時12誘導心電図の内部精度管理について | 野澤 つぐみ |
| 16. 当院の心肺運動負荷試験(CPX)における臨床検査技師の関わり | 澤山 来奈 |
| 17. 当ラズベリー様腺窩上皮型胃腺腫の一症例 | 永田 璃功 |
| 18. 腎生検における当院の臨床検査技師の取り組みとその重要性 | 安立 裕貴 |



【わかふじ賞 受賞風景】



令和8・9年度 役員紹介

会長挨拶

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会
会長 羽切 政仁



平素より、一般社団法人静岡県臨床衛生検査技師会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和6年度より会長を拝命し、3年目を迎えました。この間、会員の皆様をはじめ関係各位のご支援により、当会の事業運営を円滑に進めることができましたことに、心より感謝申し上げます。

当会は昭和27年の創立以来、県民の健康増進と公衆衛生の向上に寄与することを目的として活動を続けております。現在では会員数も1,900名を超え、中部圏支部においても有数の規模を有する職能団体へと成長いたしました。

昨今、医療を取り巻く環境は大きく変化しており、臨床検査技師に求められる役割も拡大しています。タスク・シフト/シェアの推進、医療DXへの対応、地域医療への貢献など、私たちの専門性を発揮すべき場面は今後さらに増えていくものと考えております。

そのような中、当会の持続的な目的達成に向け、精度管理事業・学術振興事業・地域保健事業の充実を図るとともに、これらの事業を支える人材の育成に取り組んでまいります。

また、会員相互の交流や情報共有の機会を充実させることで、所属施設や世代を超えたネットワークの構築を支援し、より参加しやすく魅力ある技師会を目指してまいります。

加えて、近年頻発する自然災害を踏まえ、行政や関係団体との連携強化を進めるとともに、災害時における臨床検査技師の役割を明確化し、職能団体として社会に貢献できる体制整備にも取り組んでまいります。

静臨技は、会員一人ひとりの力によって支えられております。

今後も会員の皆様の声に耳を傾けながら、「会員のための技師会」「県民に信頼される技師会」を目指し、役員一同全力で取り組んでまいります。

引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年6月吉日

副会長挨拶

副会長（学術部長） 村越 大輝（静岡県立総合病院）



このたび、副会長（学術部長）を拝命いたしました静岡県立総合病院の村越です。臨床検査技師の根幹である学術活動が有益なものとなるように技師会活動のさらなる発展に務めてまいります。また、会員の皆さまの知識・技術の向上に寄与できるように尽力してまいります。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

副会長（組織部長） 増田 拓（浜松市リハビリテーション病院）



このたび、副会長ならびに組織部長を拝命いたしました、浜松市リハビリテーション病院の増田と申します。静岡県との災害協定の締結をはじめ、会員名簿や各種表彰、求人情報の管理など、組織部が所管する重要業務の推進に注力してまいります。若輩ではございますが、会員の皆様と力を合わせ、本会のさらなる発展と会務の円滑な運営に全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

副会長（渉外広報部長） 高橋 詩帆（静岡厚生連 中伊豆温泉病院）



このたび、二期目の副会長ならびに渉外広報部長を拝命いたしました。前期では、会報誌である静臨技ニュースの配信方法をデータファイルから URL への変更し、拙い編集後記も書かせていただきました。そして、ホームページのリニューアルを 2026 年 4 月に実施することが出来ました。今期も静臨技会員の皆様へ多くの情報発信ができるように努力していきたいと思っております。どうぞご協力をよろしくお願い申し上げます。

常務理事紹介

常務理事 大野 真一（富士市立中央病院）



このたび、静岡県臨床検査技師会の常務理事に就任いたしました富士市立中央病院 大野です。身の引き締まる思いと同時に、その職責の重さを痛感しております。本会の発展と、会員の皆様の技術・地位向上を目指し、微力ながら全力を尽くす所存です。また、県民の皆様の健康と医療の未来に貢献できるよう、誠心誠意努めてまいります。皆様の温かいご指導とご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

常務理事 亀山 拓哉（島田市立総合医療センター）



今年度より常務理事（学術）および中部支部長を務めさせていただくこととなりました。
充実した研修会が開催されるよう尽力するとともに、中部支部長として、病院間および会員相互の交流がより活発になるような機会を設けていきたいと考えております。会員の皆様のご期待に添えるよう努力してまいりますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

常務理事 外波山 幸稔（静岡厚生連 遠州病院）



今年度より常務理事（組織）、西部支部長を務めさせて頂くこととなりました。
様々な表彰や求人取り扱いを担当します。活動を通じて会員の皆様の日頃の努力、有益な情報を発信していきたいと思っております。検査の知識を得ることはもちろんですが、意見交換や交流も技師会の醍醐味と思っております。会員の皆様に有意義な場を提供できる様努めて参りますのでご支援ご協力をお願い申し上げます。

新理事紹介

理事 深澤 正明 (沼津市立病院)



令和8年度定時総会でのご承認により、理事を務めさせていただく事になりました、沼津市立病院の深澤と申します。学術会計を担当いたします。精度管理調査ワーキンググループの生物化学部門責任者や生物化学分析部門の副部門長で得た経験を活かし、また諸先輩方からのご指導も賜りながら円滑に業務をすすめられるように務めて参ります。若輩者ではございますが、よろしくお願い申し上げます。

理事 原 理恵子 (静岡厚生連 静岡厚生病院)



静岡厚生病院の原理恵子と申します。本年度より理事を務めさせていただくことになりました。学術担当としてその重責を担い、身の引き締まる思いです。皆様が安心して参加できる環境づくりに尽力し、会員相互の交流が活発になるような橋渡しができればと思います。微力ではございますが、皆様のご協力をいただきながら精一杯務めてまいりますので、よろしくお願い致します。

理事 竹林 史織 (浜松医科大学医学部附属病院)



浜松医科大学医学部附属病院の竹林史織と申します。このたび、本年度より理事を務めさせていただくことになりました。至らぬ点多いかと存じますが、会員の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。ご指導を賜りながら、本会の活動をより良いものにしていければと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

理事 鈴木 航平 (浜松医療センター)



浜松医療センターの鈴木航平です。今年度より理事を拝命し、その責任の重さに身の引き締まる思いでおります。渉外広報担当として、本会の研修会や活動に関する情報を分かりやすく発信し、会員の皆様に有益な情報を提供するとともに、会員相互の連携促進と本会のさらなる発展に尽力してまいります。今後ともご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

継続される理事

石井 浩崇 (NTT 東日本伊豆病院)



このたび理事として5期目を迎えました。組織部担当として会員相互のつながりを深め、より活力ある組織づくりと円滑な事業運営に取り組んでまいります。引き続き皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

鈴木 千恵子 (富士宮市立病院)



このたび、引き続き理事を拝命しました富士宮市立病院の鈴木と申します。1期目では、先輩理事のご協力をいただきながら、活動に取り組んでまいりました。感謝申し上げます。2期目におきましても、これまでの経験を生かし、会員の皆様のお役に立てるよう尽力してまいります。よろしくお願い致します。

前澤 圭亮 (静岡赤十字病院)



今期も継続し、理事を務めさせて頂く事になりました、静岡赤十字病院の前澤圭亮と申します。今期から組織部を担当いたします。微力ではありますが、会員の皆様が交流を深め、円滑な技師会活動が出来るよう務めて参りますので、よろしくお願い致します。

直田 健太郎 (聖隷浜松病院)



このたび静岡県臨床衛生検査技師会の理事を拝命し、6期目を迎えました。これまでの経験を生かし、会員の皆様とともに職能向上と地域医療への一層の貢献に努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

事務局長 坂根 潤一 (静岡県立総合病院)



この度は、静岡県臨床衛生検査技師会事務局長の5期目を拝命し、身の引き締まる思いです。会員の皆様のために、全身全霊で職務を全うする所存です。これまでの歴史や古き良き伝統を大切に守りながらも、時代の変化に合わせた新しい、そして効率的な事務所運営を目指してまいります。皆様の温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。信頼に応えられるよう、全力で邁進いたします。

会計部長 齋藤 晴義 (聖隷予防検診センター)



昨年に引き続き会計部長を拝命いたしました齋藤です。会計部におきましては、会員の皆様からお預かりしている大切な会費を基盤とし、本会のあらゆる事業が滞りなく、かつ最大限の成果を生み出せるよう、財政面から支えてまいります。また、事業を通じた、会員皆様への確実な還元と各事業の安定的な継続を目指し、健全で透明性の高い財務体質の維持・向上に取り組む所存です。

監事

松浦 裕 (焼津市立総合病院)



山下 計太 (浜松医科大学医学部附属病院)



初めての学会発表を終えて

JA 静岡厚生連 中伊豆温泉病院 野澤 つぐみ

第13回静岡県医学検査学会にて、初めての学会発表を経験しました。本番まで不安や緊張がありましたが、上司や先輩方に助言をいただきながら何度も練習を重ね、無事に発表を終えることができました。

学会発表に向けた準備では、他の学会で他施設の方の発表を聞き、発表の構成や説明の仕方について学びました。しかし、実際に抄録やスライドを作成する際にはとても苦労しました。抄録作成では、文章の構成や表現方法に悩みました。助詞の使い方など細かい言い回しに苦戦し、修正を重ねました。また、スライド作成においては、限られた発表時間の中で必要な情報を不足なく伝えるため、取捨選択し要点を整理することが難しかったです。スライド完成後は臨床検査科の上司、先輩方全員に聞いていただき、スライドの中で分かりにくいところはないか、聞きやすい速度で話せているか、どんな質問が想定されるかなど様々なアドバイスをいただきました。自分では気づくことができなかった視点が多く、発表内容をより良いものにすることができました。

発表当日は自分の出番の直前まで緊張していましたが、話始めると次第に緊張がほぐれ、練習と同じように発表することができました。質問に対しても意図に沿って答えられたと思います。

学会発表を通して、普段の業務を見直すきっかけになりました。また、多くの人の前で話す機会はあまりなく、わかりやすく伝えることの難しさを実感し、良い経験になったと思います。今回の発表は、自分ひとりの力では成し遂げることはできませんでした。指導、助言をいただいた上司や先輩方に心より感謝いたします。今回の経験や得られた知識を今後の業務に生かし、引き続き研鑽を積んでいきたいです。



(注意喚起)

研修会参加申し込み時のアドレス登録設定について

研修会参加申し込みを行う際、

携帯通信事業者（キャリア）が提供するアドレスを連絡先アドレスとして使用した場合、容量の大きい講義資料や Web 招待メールが配信されない恐れがあります。

(推奨されないアドレス)

- docomo → @docomo.ne.jp
- au → @ezweb.ne.jp、au.com
- SoftBank → @softbank.ne.jp、@i.softbank.jp 等

(理由)

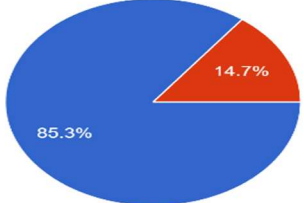
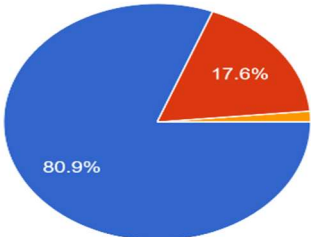
- フィルタが強い、URL 付きメールは弾かれる、受信許可設定が未登録

(対策)

- 別メールを使用する（推奨） → ©Gmail、Outlook、Yahoo メールを使用する

過去に研修会参加申し込みをおこなっているのにも関わらず、それに関連する情報が配信されてこなかった等、お心当たりのある方はこの機会に見直しを行って頂くことをお勧めします。

研修会終了報告

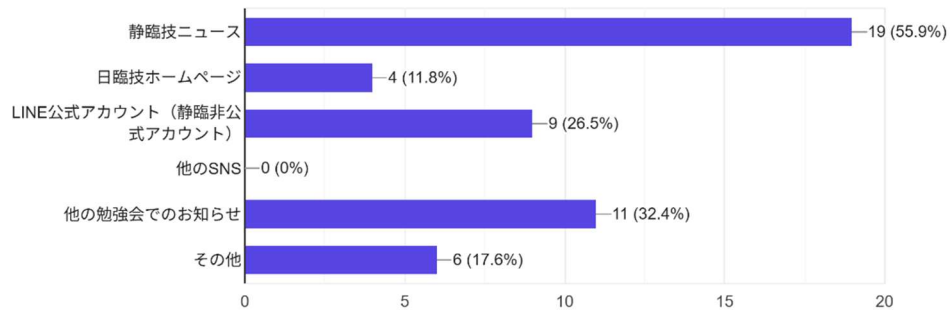
事業名	令和8年度 第1回臨床血液部門研修会
開催日	2026年5月23日
会場	静岡県産業経済会館 大会議室（ハイブリッド開催）
参加人数	97名
内容	<p>今回は、例年と同じく「血液検査の基礎を学ぼう」をテーマに新人や日当直者向けに凝固検査の基礎、血算の基礎についてご講演いただきました。</p> <p>開催後のアンケートでは、参加者の方から当直デビュー前に血液部門の結果の見方に対する不安が特に強かったため、復習が出来て良かった、初心者でもわかりやすかったなどの多くの感想をいただきました。</p> <p>アンケートの方で今後取り上げて欲しい内容についてもご回答いただいたので今後も参加者のニーズに合った研修会を企画していきたい。</p> <div style="margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">第1講演</div>  <ul style="list-style-type: none"> ● 大変参考になった。 ● 少し参考になった。 ● あまり参考にならなかった。 </div> <div style="margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">第2講演</div>  <ul style="list-style-type: none"> ● 大変参考になった。 ● 少し参考になった。 ● あまり参考にならなかった。 </div>

研修会終了報告

事業名	令和8年度 第1回臨床生理部門研修会
開催日	2026年6月6日（土）
会 場	Web会場（Zoom）
参加人数	35人
内 容	<p>令和8年6月6日（土）、静岡県立総合病院検査部の久住裕俊技師を講師にお迎えし、「はじめての学会発表・症例報告 完全攻略！ ～『何から始めればいいのか？』を1時間で解決～」を開催した。</p> <p>学会発表や症例報告は、若手技師のみならず中堅層にとっても心理的なハードルが高い課題とされることが多い。本研修会では、それらの「お作法」を基礎から実践まで体系的に解説し、受講者が明日から最初の一步を踏み出せるようになることをゴールに掲げて行われた。講義の冒頭、「なぜ学会発表をするのか」という本質的な問いに対し、発表は「自分のため、自分を磨くためのもの」とであると強調された。症例報告は決して珍しい症例を自慢する場ではなく、その症例から得た「学び」を共有することこそが重要であり、その視点を持つことで日常の検査業務が成長のチャンスに変わるという考え方が示された。</p> <p>具体的な症例報告の作成手法については、非常に実践的なアドバイスがなされた。特に印象的であったのは、作成の順序を「結語」から始めるという逆算のアプローチである。まず「何を学んだか（結語）」を明確にし、それに合わせて「表題」「考察」を構築していくことで、論点がぶれず、一貫性のある抄録やスライドが作成できるという手法は、多くの受講者にとって目から鱗が落ちる内容であった。</p> <p>また、応用編として提示された「膝窩動脈外膜嚢腫」や「AHCL療法」の症例提示では、超音波検査によるリアルタイム観察の強みをどう考察に活かすか、あるいは臨床データをどのように整理・解析して客観的な評価に繋げるかといった、技師ならではの専門性を発揮するポイントが具体的に解説された。</p> <p>最後に、スライド作成における視認性の重要性や、質疑応答における誠実な対応のあり方についても触れられ、発表技術だけでなく、臨床検査技師としてのプロフェッショナリズムについても再認識する機会となった。</p> <p>本研修会は、発表に対する苦手意識を払拭し、学術活動への意欲を高める極めて有意義な時間となった。</p>

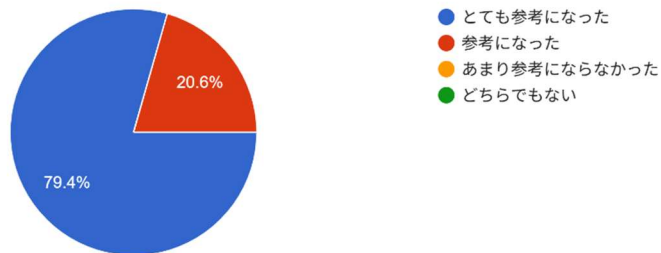
本研究会をどのような知りましたか？（複数回答可）

34件の回答



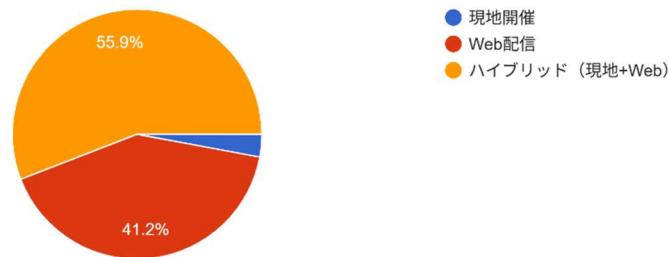
本研修会の内容について

34件の回答



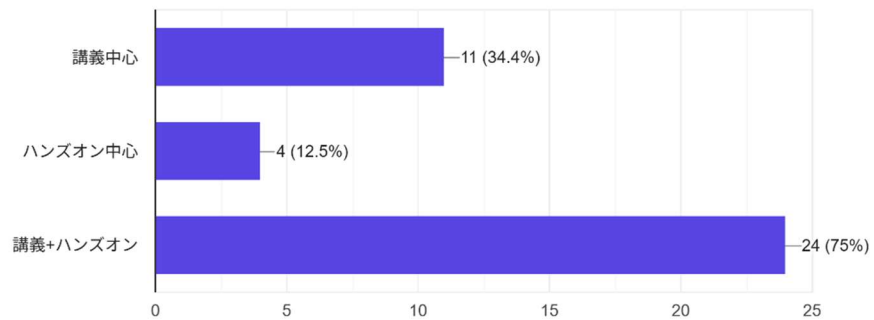
今後の研修会開催形式について最も希望するものを教えてください

34件の回答



研修会内容の希望について（複数回答可）

32件の回答



令和8年度 第1回 生物化学分析部門 Web 型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260005924】

テーマ	分析の基礎から日臨技認定取得までの知識を学ぼう！
開催日時	2026年7月4日（土） 13時30分 ～ 15時30分
会場	Web会場（Zoom）
内容	<p>Section1 「基礎から学ぶタイムコースについて」 富士フィルム和光純薬株式会社 学術担当 門脇 氏</p> <p>Section2 「分析の基礎知識から認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師制度 取得への第一歩」 静岡県立総合病院 村越 大輝 技師</p>
備考	開始時刻5分前にはWeb招待メール本文中のURLよりご参加ください。 入場時には、マイクをミュート、カメラをオフをお願いします。
申込・振込期間	2026年6月1日 ～ 2026年7月3日
申込定員	300名
申込方法	1) 下記イベントURLから参加申し込みを行ってください。 2) 受講料の入金確認後、Web参加の方へWeb招待メールを送信します。 ※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。
イベントURL	https://event.menergia.jp/events/01KS42YDG10880RQH6AP8YD84C (イベントURLは申込期間中のみ開示が有効です)
受講料	静臨技会員・日臨技会員 1,000円／賛助会員 1,000円／非会員 2,000円
問い合わせ先	生物化学分析部門 部門長 青地 祐（静岡県立総合病院） TEL：054-247-6111 E-mail：yuu.oishi.kensou.kensa@gmail.com ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後1ヶ月以内にご連絡ください。
主催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

令和8年度 第2回 輸血細胞治療部門研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260005676】

テーマ	実技研修による輸血検査技術の取得
開催日時	2026年7月11日(土) 9時30分～16時00分(9時～受付開始)
会場	静岡医療科学専門学校 2号館3階 科学実習室
内容	<p>「血液型検査異常反応や不規則抗体同定について学ぶ」 講師：亀山 拓哉 技師</p> <p>島田市立総合医療センターの亀山 拓哉技師に講師をお願いし、輸血のための検査マニュアル Ver.1.4 に沿って血液型検査及び不規則抗体検査の基本的な検査を実施し、用手法の手技の確認や追加検査について考える実習を行ないます。今後認定輸血検査技師を目指す予定の方はもちろん、輸血検査業務に携わる方や、輸血検査に興味のある方など多くの参加をお待ちしております。</p>
備考	当日の持ち物や諸注意については、参加者へ改めてご連絡いたします。
申込・振込期間	2026年5月25日～2026年6月30日
申込定員	24名
申込方法	下記イベント URL から参加申し込みを行ってください。 ※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。
イベント URL	https://event.menergia.jp/events/01KRX05QGJWVZ6TXEQCW30QFK5 (イベントURLは申込期間中のみ開示が有効です)
受講料	静臨技会員・日臨技会員 8,000 円／賛助会員 8,000 円／非会員 16,000 円
問い合わせ先	輸血細胞治療部門 部門長 石戸谷 典明 (聖隷三方原病院) TEL : 053-438-2172 E-mail : ishidoaya@sis.seirei.or.jp
主催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

令和8年度 第1回 臨床微生物部門ハイブリッド型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点


行事コード【260005609】

テーマ	「臨床に信頼されるための微生物検査の基礎」
開催日時	2026年7月18日（土） 14時00分 ～ 17時00分
会場	沼津労政会館+Web会場（Zoom）
内容	<p>今回の研修会では、静岡県内の微生物技師のレベルアップを目的とした内容を企画しております。微生物技師としてマストな知識、情報を共有し、臨床に信頼される検査室を目指しましょう！！</p> <p>【講演】(1)『培地の基礎（仮）』 講師：栄研化学株式会社 マーケティング推進室2部1課 市石 卓 氏</p> <p>【講演】(2)『微生物検査の基礎（仮）』 講師：中東遠総合医療センター 小柳 紀人 技師 静岡県立静岡がんセンター 新宮 歩 技師</p>
備考	開始時刻5分前にはWeb招待メール本文中のURLよりご参加ください。 入場時には、マイクをミュート、カメラをオフをお願いします。
申込・振込期間	2026年6月1日～2026年7月16日
申込定員	350名（現地参加：先着50名 Web参加：300名）
申込方法	1) 下記イベントURLから参加申し込みを行って下さい。 2) 受講料の入金確認後、Web招待メールを送信します。 ※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。
イベントURL	https://event.menergia.jp/events/01KRWA0XVEM87J3P09MTP1ZXNW (イベントURLは申込期間中のみ開示が有効です)
受講料	静岡技会員・日臨技会員1,000円／賛助会員1,000円／非会員2,000円
問い合わせ先	臨床微生物部門 部門長 新宮 歩（静岡県立静岡がんセンター） TEL：055-989-5222(内線2320) E-mail：a.shingu@scchr.jp ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後1ヶ月以内にご連絡ください。
主催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

令和8年度 第1回 病理細胞部門 Web 型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：基礎教科 20 点

行事コード【260005373】

テーマ	病理検査部門の医療安全を学ぼう！	
開催日時	2026年8月29日（土） 13時00分 ～ 17時05分	
会場	Web会場（Zoom）	
内容	<p>【講演1】「切り出し作業時の安全管理～取り違え防止対策、感染防止策、微小検体の取り扱い方～」 講師：藤枝市立総合病院病理診断科 伊藤 以知郎 先生</p> <p>【講演2】「病理検査における医療安全～ヒューマンエラーと化学物質管理～」 講師：慶應義塾大学医学部病理学教室 鈴木 美那子 技師</p> <p>【講演3】「病理の医療安全～正しい検査から患者に正確に報告が伝わる為に～」 講師：聖マリアンナ医科大学病院病理診断科 島田 直樹 技師</p> <p>本研修会では、「病理検査部門の医療安全を学ぼう！」をテーマに、実践的な内容を多角的に学びます。切り出し作業における安全管理から、ヒューマンエラーの発生要因と対策、さらには化学物質の適切な取り扱いまで幅広く取り上げます。また正確な検査結果を確実に臨床へ届ける為の病理検査報告書の既読・未読管理の重要性についても解説いたします。 本研修会を通じて、日常業務の見直しと安全意識の向上につなげて頂ければ幸いです。皆様の積極的なご参加お待ちしております。</p>	
備考	<p>開始時刻5分前にはWeb招待メール本文中のURLよりご参加ください。 入場時には、マイクをミュート、カメラをオフをお願いします。 <u>研修会後のアンケート回答をもって研修会参加確定とさせていただきます。</u></p>	
申込・振込期間	2026年7月1日 ～ 2026年8月27日	
申込定員	300名	
申込方法	<p>1) 下記イベントURLから参加申し込みを行って下さい。 2) 受講料の入金確認後、Web参加の方へWeb招待メールを送信します。 ※振込依頼人情報には会員番号+入力可能な文字数までの氏名の入力をお願いします。（例：123456 シズカカ） ※振込後は返金対応できませんのでご注意ください。</p>	
イベントURL	<p>https://event.menergia.jp/events/01KRG39NE811J5SR5RHC7S2FHR (イベントURLは申込期間中のみ開示が有効です)</p>	
受講料	<p>静臨技会員・日臨技会員 1,000円 / 賛助会員 1,000円 / 非会員 2,000円</p>	
問い合わせ先	<p>病理細胞部門 部門長 高橋珠里 (浜松医科大学医学部附属病院) TEL : 053-435-2549 E-mail : juri.t@hama-med.ac.jp ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後1ヶ月以内にご連絡ください。</p>	
主催	<p>一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会</p>	

令和8年度 第2回 臨床生理部門ハイブリッド型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260005632】

テーマ	一歩踏み込む心電図判読
開催日時	2026年8月29日（土） 15時00分 ～ 16時00分
会場	静岡県産業経済会館＋Web会場（Zoom）
内容	講師：静岡市立静岡病院循環器内科科長 川人充知 先生 心電図判読において、パターンの暗記だけでは限界があります。本講演では、中級者がさらなるステップアップを目指すために、「なんとなくの判読」から「機序に基づいた確信のある判読」への転換を目指した一歩踏み込んだスキルをご講演いただきます。
備考	開始時刻5分前にはWeb招待メール本文中のURLよりご参加ください。 入場時には、マイクをミュート、カメラをオフをお願いします。
申込・振込期間	2026年7月1日 ～ 2026年8月22日
申込定員	360名（現地参加：先着60名 Web参加：300名）
申込方法	1) 下記イベントURLから参加申し込みを行ってください。 3) 受講料の入金確認後、Web招待メールを送信します。 ※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。
イベントURL	https://event.menergia.jp/events/01KRWT7K6NBY26W3N7SJCZXR71 （イベントURLは申込期間中のみ開示が有効です）
受講料	静臨技会員・日臨技会員 1,000円／賛助会員 1,000円／非会員 2,000円
問い合わせ先	臨床生理部門 部門長 鈴木駿輔（静岡県立総合病院） TEL：054-247-6111 E-mail：shun0719s@gmail.com ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後1ヶ月以内にご連絡ください。
主催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

令和8年度 第1回 一般部門ハイブリッド型研修会

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260008387】

テーマ	きつとわかる！穿刺液細胞の見方・考え方
開催日時	2026年8月29日（土） 14時00分～16時00分
会場	静岡県男女共同参画センターあざれあ 特別会議室+Web会場（Zoom）
内容	今回の研修会では国立病院機構 舞鶴医療センターの佐伯仁志技師に穿刺液細胞の講演を行っていただきます。普段穿刺液細胞の判断に苦慮している方や、穿刺液の知識を深めたい方向けの研修会となっています。佐伯技師への質問の時間も用意する予定です。興味のある方はご参加をお願いします。
備考	開始時刻5分前にはWeb招待メール本文中のURLよりご参加ください。 入場時には、マイクをミュート、カメラをオフをお願いします。
申込・振込期間	2026年8月1日～2026年8月22日
申込定員	225名（会員：現地参加先着15名 Web参加100名） （賛助会員：現地参加5名 Web参加50名） （非会員：現地参加5名 Web参加50名）
申込方法	1) 下記イベントURLから参加申し込みを行って下さい。 4) 受講料の入金確認後、Web招待メールを送信します。 ※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。
イベントURL	https://event.menergia.jp/events/01KVR0Y2MNTFR5K18RHV3CJSR0
受講料	静臨技会員・日臨技会員1,000円／賛助会員1,000円／非会員2,000円
問い合わせ先	一般部門 部門長 萩原 風太（静岡県立総合病院） TEL：054-247-6111(内線2260) E-mail：f.hagiwara.kensou.kensa@gmail.com ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後1ヶ月以内にご連絡ください。
主催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

令和8年度 第2回 臨床血液部門研修会

静岡血液形態セミナー 2026

生涯教育研修・一般教育研修課程：専門教科 20 点

行事コード【260008499】

テーマ	静岡血液形態セミナー 2026 ～形を見る力を、ともに育てよう～
開催日時	2026年9月12日(土)・13日(日) 9月12日 講演会 9月13日 顕微鏡実習(症例ディスカッション)
会場	浜松医科大学医学部附属病院(浜松市) ※現地開催
内容	<p>■9月12日(土) 特別講演会 —— 第一線の専門家による2講演 ——</p> <p>受付 13:00～13:30 開会 13:30～13:40</p> <p>特別講演1 13:40～14:50 『(仮) 昭和・平成を経て令和時代の血液形態検査を担う血液検査技師に求めるもの』 講師：松下 弘道 先生 慶應義塾大学医学部 臨床検査医学 教授 自動血球分析装置の普及・高度化が進む中で、血液形態検査における技師の専門性とは何かを問い直す。昭和・平成期に積み上げてきた形態学の知識と経験を礎に、AI・デジタル病理が台頭する令和の時代に求められる「目で診る力」と人材育成のあり方について論じる。</p> <p>特別講演2 15:00～16:10 『(仮) 昭和・平成を経て令和時代の血液形態検査を経験した私がこれからの血液検査技師に伝えたいもの』 講師：澤田 朝寛 技師 順天堂大学医学部附属浦安病院 臨床検査医学科 形態診断に携わってきた経験から、次世代の血液検査技師へ伝えるべき本質的な姿勢と視点を語る。「見える」から「診る」へ至る過程で大切にしてきた思考の軸、症例を通じた学びの積み重ね方、そして後進への教育・継承の意義について、実践的な観点から伝える。</p> <p>総合討論・質疑応答 16:10～16:40 閉会 16:40～16:50 懇親会 19:00～ (任意参加・会場周辺予定)</p> <p>■9月13日(日) 症例検討 —— 実習メインセッション ——</p> <p>◆ 顕微鏡を囲んでこそこの学びがここに。 現場で遭遇する疾患・認定血液検査技師試験に直結する疾患を厳選した6症例を軸に、上級・初級それぞれが顕微鏡を囲み、血液細胞検査の「すべて」が凝縮。</p> <p>【参加グループ構成】 Aグループ(上級) 30名：顕微鏡実習・症例検討 Bグループ(初級) 10名：顕微鏡基礎レクチャー・症例観察</p> <p>【Aグループ 症例提示担当一覧】 症例1 当日公開 担当：岩崎技師(順天堂静岡病院)・小林技師(焼津市立病院) 症例2 当日公開 担当：永谷技師(静岡がんセンターSRL) 症例3 当日公開 担当：渡辺技師(静岡赤十字病院) 症例4 当日公開 担当：原田技師(島田市立医療センター) 症例5 当日公開 担当：黒山技師(静岡赤十字病院) 症例6 当日公開 担当：梶本技師(浜松医科大学病院)</p>

	<p>【Bグループ 初心者顕微鏡レクチャー】 指導：大畑 雅彦 技師 横浜市立大学附属病院 顕微鏡とモニターをつなぎ、正常細胞の見方から異常細胞の鑑別まで、熟練した先生と一緒にリアルタイムで観察します。「気づき」の瞬間を、先生とともに体感。 テーマ：「細胞の気づき」—— 正常細胞鑑別 → 異常細胞鑑別 → 実際の症例観察 現場で突然遭遇する疾患・認定血液検査技師試験で必須の細胞を豊富に収録。大畑先生の解説と「気づき」の視点で、たくさんの症例を実際に観察していきます。</p> <p>【当日タイムライン】 09：00 開会挨拶</p> <p>09：30 ～ 11：30 セッション1 Aグループ：6症例の顕微鏡標本観察（班ごとに担当症例を分担） Bグループ：大畑技師による初心者顕微鏡レクチャー（モニター同時観察）</p> <p>11：30 ～ 12：00 まとめ・昼食会場移動準備</p> <p>12：00 ～ 13：00 ランチョンセミナー（アッヴィ株式会社協賛）</p> <p>13：00 ～ 14：00 セッション2 Aグループ：班別発表準備（話し合い・骨髄所見用紙にまとめる） Bグループ：症例標本観察（Aグループ使用症例を順次観察）</p> <p>14：00 ～ 15：00 受講者による症例発表 Aグループ各班の班長が、観察所見・鑑別・考察を全体に発表</p> <p>15：00 ～ 17：00 症例解説（メインハイライト） 症例担当者によるスライド解説＋質疑応答 1症例：約20分 計6症例 認定血液検査技師試験・臨床現場の即戦力となる知識が、この2時間に凝縮されています。</p> <p>17：00 閉会・解散</p>
備考	<p>本研修会は現地開催のみです。 駐車場については浜松医科大学医学部附属病院の指定駐車場をご利用ください。 顕微鏡実習用標本は当日実行委員会が準備します。</p>
申込・振込期間	2026年7月1日 ～ 2026年8月31日
申込定員	<p>合計80名（講演会のみ：先着40名、2日間通し：40名） ※ 定員に達し次第、締め切りとなります。</p>
申込方法	<p>下記イベントURLから参加申し込みを行ってください。 ※ 振込後は返金対応できませんのでご注意ください。</p>
イベントURL	https://event.menergia.jp/events/01KVVPEPJSN3835MPH0FMZF0SBM
受講料	<p>【日臨技会員・賛助会員】 講演会のみ：2,000円/2日間通し：9,000円 【非会員】 講演会のみ：3,000円/2日間通し：15,000円</p>
問い合わせ先	<p>臨床血液部門 部門員：谷渕 将規（静岡済生会総合病院 臨床検査科） E-mail：m176516@siz.saiseikai.or.jp ※参加証明書の発行を希望される方は、研修会終了後1ヶ月以内にご連絡ください。</p>
主催	一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会
協力	浜松医科大学医学部附属病院

令和8年度 日臨技中部圏支部研修会

「第32回 臨床微生物部門研修会」開催案内

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 中部圏支部

実務担当技師会：愛知県臨床検査技師会

【テーマ】微生物検査をデザインするー最適な戦略立案と発信を考えるー

【日 時】令和8年11月14日(土)13:00~18:00、15日(日)9:00~13:00

【場 所】JAあいちビル 14階大会議室

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目3番8号

【定 員】70名

【受講料】会員、賛助会員 5,000円、非会員 7,000円

【日 程】

《1日目》 11月14日(土)

12:30 受 付

13:00 開講式/オリエンテーション

13:10 講演1 『見やすく人に伝わるスライドの作り方:各種微生物検査機器の特徴を伝える』

講師:朝日大学 歯学部 寄附講座 分子疫学・疾病制御分野 坂梨 大輔 先生

14:10 グループワークの進め方について

14:20 アイスブレイク(自己紹介)

14:40 グループワーク/発表スライド作成

17:45 片付け

18:00 解散

《2日目》 11月15日(日)

8:30 受 付

9:00 各グループの発表/フィードバック

11:00 休憩

11:10 特別講演 : テーマ『俯瞰した視点で微生物検査業務を捉える』

特別講演1 『内からの視点で考える、管理職が微生物検査に求める事』

講師:日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 原 祐樹 先生

12:00 特別講演2 『外からの視点で考える、管理職が微生物検査に求める事』

講師:JA愛知厚生連安城更生病院 河内 誠 先生

12:30 閉講式

13:00 解散

【申込期間】令和8年8月1日~令和8年10月15日

【参加申し込み方法】

1. 日臨技会員の方

日臨技ホームページから、「会員専用ページ」にログインし、お申込みください。

2. 非会員の方

下記の 1)~7)を列記し研修会事務局までメールにて申し込みをして下さい

- 1)所属県名 2)漢字氏名(ふりがな) 3)施設名 4)所属部署 5)施設住所
- 6)電話番号 7)連絡メールアドレス

【アクセス】

会場には来場者用の駐車スペースはございません。

ご来場の際は、できる限り公共交通機関をご利用いただきますようご協力をお願いいたします。

《名古屋駅から地下鉄をご利用の方》

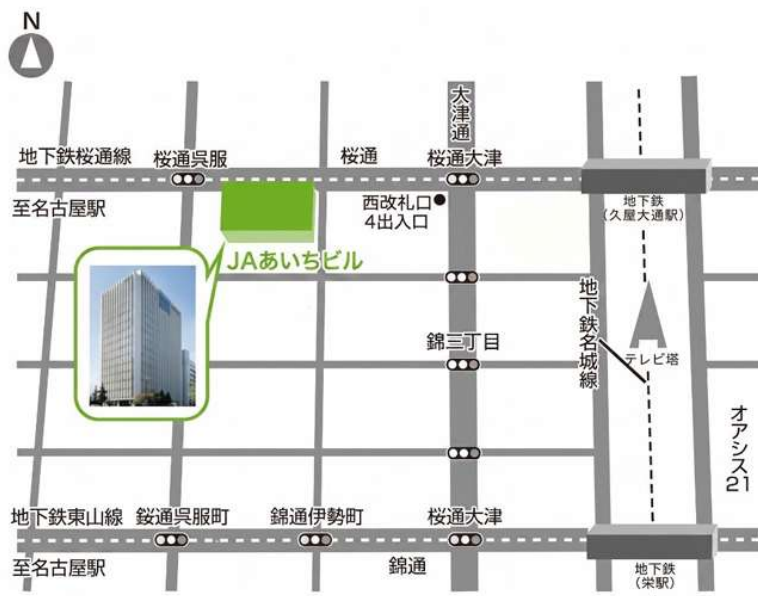
- 地下鉄桜通線「名古屋駅」から徳重方面行きで約 5 分

「久屋大通駅」下車、4 番出口から徒歩約 1 分

※地下鉄東山線をご利用の場合は「栄駅」で下車し、1 番出口から徒歩約 6 分です。

《名古屋駅からタクシーをご利用の方》

- 名古屋駅桜通口（東口）タクシーのりばから約 10 分



※土曜・日曜日は、施設正面入り口は開放されていません。

伊勢町通りに面した時間外入り口からお入り下さい。

研修会事務局

〒485-8520 愛知県小牧市常普請 1-20

小牧市民病院 診療技術局 臨床検査科 西尾 美津留

Tel : 0568-76-4131 (内線 3110/PHS 5398) FAX : 0568-76-4145

Emai : komakihp240@gmail.com

2026年7～9月の行事予定

2026年

7月

- | | | |
|--------|----------------|---------------|
| 4日(土) | 第1回生物化学分析部門研修会 | : Web |
| 11日(土) | 第2回輸血細胞治療部門研修会 | : 静岡医療科学専門大学校 |
| 18日(土) | 第1回臨床微生物部門研修会 | : 沼津労政会館+Web |

8月

- | | | |
|--------|--------------|----------------|
| 28日(金) | 第3回理事会 | : 静臨技事務所 |
| 29日(土) | 第1回病理細胞部門研修会 | : Web |
| 29日(土) | 第2回臨床生理部門研修会 | : 静岡産業経済会館+Web |

9月

- | | | |
|---------|---------------|------------|
| 2日(水) | 第2回静岡県精度管理委員会 | : Web |
| 12日(土) | メディアメッセージ2026 | : アクトシティ浜松 |
| ～13日(日) | | |
| 23日(水) | IFBLS2026 | : 幕張メッセ |
| ～27日(日) | | |
| 26日(土) | 第75回日本医学検査学会 | : 幕張メッセ |
| ～27日(日) | | |

☆ 会員投稿募集 ☆

技師会では会員の皆様の原稿を募集しています。ジャンル等は問いません。

※採用された方には粗品を進呈いたします。

ご意見・ご要望・情報等もお待ちしております。

渉外広報部（編集責任者）高橋詩帆まで。E-mail : kensaka.kna@shizuokakouseiren.jp

☆ 求人情報 ☆

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会では、ホームページに求人情報の掲載を行っています。

求人情報掲載の申し込み方法等のお問い合わせ先

〒430-929 浜松市中央区中央一丁目1番1号 静岡厚生連 遠州病院 外波山 幸稔まで。

E-mail : osigoto@samt.or.jp

TEL : 053-453-1111

情報変更の手続き等について

新入会登録や、会員情報・登録施設情報（名称・連絡先）に変更がある場合、日臨技へ申請をお願いします。（日臨技HP；入会・退会・会員情報の変更参照）

責任者・連絡責任者・施設連絡用E-mailアドレスを登録・変更する場合、静臨技事務所へ連絡をお願いします。（静臨技HP；各種申請書を参照）

静臨技賛助会員入会申請 や、賛助会員情報（担当者・連絡先）に変更がある場合、静臨技事務所へ連絡をお願いします。（静臨技HP；賛助会員のご紹介ページの賛助会員登録申請書を参照）

お問い合わせ先：（一社）日本臨床衛生検査技師会 <http://www.jamt.or.jp/>

（一社）静岡県臨床衛生検査技師会（担当：組織部）

TEL : 054-287-6337 FAX : 054-287-4113 E-mail : samtjim@samt.or.jp

編集後記

皆さま、お疲れさまです。

先日の定時総会にて継続の任命を受け、渉外広報部長をあと一期務めさせていただくことになりました高橋です。あと2年、拙い話にお付き合いいただければ幸いです。

第13回静岡県医学検査学会はいかがでしたか。私の率直な感想は「もう、お腹いっぱい。満足！満足！」です。大ホール一会場で18演題を行ったことには賛否あるかもしれませんが、長時間にわたり普段あまり触れることのない部門の発表まで聞くことができ、とても新鮮で有意義な時間でした。実行委員をはじめ、ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。ご都合が合わず参加できなかった会員の皆さまも、ぜひ来年お会いできることを楽しみにしています。

そして嬉しいことがありました。「編集後記、読んでいますよ」「メダ活は？」「金魚を始めたんだって？」と声を掛けていただきました。思いがけず始まった金魚飼育ですが、稚魚は今「青子」と呼ばれる時期まで成長しました。まだ色は付いていませんが、尾びれが開き、体も少しずつ丸くなってきています。親は通販で購入した品種名のないオタマ金魚なので、どんな姿に育つのか今から楽しみです。

メダカも元気に過ごしています。少し里子に出しましたが、新しい針子も増えています。ガーデニングでは雑草取りに追われる毎日ですが、雑草だと思っていた草が実はネジバナというランの仲間で、かわいらしい花を咲かせてくれました。何でもすぐに排除するのではなく、まずは見守ってみることも大切なのだと、小さな庭から教えられた気がしています。

（高橋）

2026年7月吉日